

# HAND in HAND

はんど いん はんど

二十回目を迎えたニコニコ離婚講座 円より子

(第一回講座から)  
**女の法律・妻の立場** 金住典子

(第七回講座から)  
ニコニコ離婚講座のあゆみ

**主婦業を活かす  
アメリカの離婚女性たち** 円より子

逐次刊行物

'13.2.14

国立女性教育会館  
女性教育情報センター

おたよりコーナー  
二十回おめでとう 伊藤静子  
講座の友と励ましあいながら 藤 陽子  
NEXUSからニコニコ離婚講座のみなさまへ キャシー・ナポリテーン

編集後記

二十回目を迎えた

# ニコニコ 離婚講座

まどか  
円より子

私がこのニコニコ  
「離婚講座」を用く  
ようになつた直接  
のきつかけは「離  
婚します。…女性  
のための離婚学入  
門」をノビス出版  
から出したことと、その監  
修としてくださった金住典  
子弁護士との出会いだ  
さかのぼれば、北政で大勢  
の離婚女性と友人になつた  
からである。

新聞社に勤めたりした妹、スラウエーデン、  
コーズ、ノルウエー、フィンランド、  
と、

いつた北政の回々に取材旅行して以来、私  
はすっかり北政の国々に魅せられて、結婚して  
新聞社をやめてからも、何夜か北政を旅した。  
その間、さまざま家族、女たちと出会った。  
ある家族は、両親が子連れに再婚者同士  
だった。ある家族は、夫が初婚で妻が子  
連れの離婚女性だった。医者夫婦と別れて  
一人でア・パートぐらしを楽しんでいる大  
学教授の女もいた。彼女の子どもたちは  
父親との生活を選んだが、しゅっちやう  
母親とデートしていた。別れた夫に、子  
どもの保育園の送り迎えをしてみらっ  
ているデザイナーの女もいた。彼女は  
時々仕事でロンドンやパリにでかけるが  
その時は子どもは父親の家ですす。

ニコニコ離婚講座のすみ、パート

第一回 昭和54年3月27日(火)

1. 「離婚もわくない」 バンバラ寺岡
2. 「女の法律、妻の立場」 金住典子
3. 「離婚、再婚、そして子供」 小室加代子

第二回 4月26日(木)

1. 「慰籍料の多寡」 金住典子
2. 「たたいは、離婚進行中」 金住、内と内にて  
ディスカッション。

第三回 5月22日(火)

1. 「私の離婚体験」 真いろ子
2. 「財産分与と分割」 金住典子
3. 財産分与についてディスカッション。

第四回 6月30日(土)

1. 「婦人相談センターと母子福祉」 内より子
2. 「親権、監護権」 金住典子
3. 「母と子」についてのディスカッション。

第五回 7月27日(金)

1. 「私の離婚、再婚」 帯正子
2. 「女のための民法」 金住典子
3. 女の民法についてのディスカッション。

どの女たちも離婚はどい吹く風といった  
顔で、はつらつと生きていた。過去にこだ  
わらず、今現在精一杯、それも気負い  
とみせずさうりと生きていた。

ちようどその頃私のまわりには、私自  
も離婚を考えていたし、離婚する友人  
たちがあつた。  
自活力のある女が多かつたが

それでも肩ひじ張って突っ張って生きている印象を受けた。逆に、戸籍上の夫婦であることと頼みにし、子どもを盾にし、夫への未練をふっきれない女も大勢いた。

離婚を通して、私たちの本音の結婚観、夫婦観や、精神的、経済的自立の程度がはっきり見えてきた。それと同時に、保育制度の不備や男女の賃金格差、老後の保障の不安など、社会の仕組みや問題と離婚が密接に結びついていることもみえてきた。まさに離婚は女の社会問題なのだ。

離婚を通して、女の幸せも、生き方も見えてくる。飒爽と女たちが「離婚します」と言い切る時代になっていきたい。そんな思いが離婚します。ー女性のための離婚学入門

に結晶したのだ。そして、離婚をみんなが自分たちの問題として話しあえれば、防げる離婚もあるだろうし、傷つかない離婚ケースも増えるに違いないと確信して、「ニコニコ離婚講座」をスタートさせたのだ。

それから二年の歳月が流れた。受講者は延べ○○○人へのほり、中には遠く九州から訪れた人もいる。地方で聞いてほしいという声も多く、昨年三月には茨城県水戸市でもニコニコ離婚講座を持った。

講座では、離婚の際に必要な法律知識や手続き法、家裁や弁護士活用法、離婚後の福祉手当についてなどをテーマに選ぶ。一人でどうしていいかわからず不安なおののいてる人たちに、そういう知識は大きな力とな

第六回 8月 23日(木)

1 「離婚と女の法律」 金住典子

② 受講者の質問に答え、ディスカッション

第七回 9月 20日(木)

1 「アメリカの離婚女性」 岡より子

2 「女のための民法Ⅱ」 金住典子

③ ディスカッション

第八回 10月 30日(木)

1 「面接交渉権と親子関係」 岡より子

2 「親権、監護権と養育料」 金住典子

3 質問とディスカッション

第九回 11月 22日(木)

1 「離婚法とその実態」 金住典子

2 「離婚と女性の心構え」 岡より子

第十回 昭和 55年 2月 28日(木)

1 「協議離婚の実態」 岡より子

2 「離婚の法律」 金住典子

質問とディスカッション

第十一回 3月 27日(月)

1 「家裁の上手な利用法」 岡より子

2 「慰養料について」 金住典子

質問とディスカッション

るからだ。講座はまた、同じような状況のもの  
とにいる女たちと心おきなく話ができる場だ。  
話すことで気持ちの整理ができ、勇気づけら  
れる。自治の道を探る情報交換の場ともなる。

離婚後の両親のいさかいと生活の変化が、  
子どもたちにどんな影響を与えるか、その  
影響を小さくするにはどうしたらいいかも  
話しあえる。

講座は今日で二十回目を迎えた。多くの人たちの喜ぶと、私たちの一人で生きていこうとするエネルギーでここまで続いてきたが、これから先いつまで続くものかわからない。

離婚する女にとって、経済力のあることがかなりの助けとなることも、再就職の条件の悪さが離婚後の生活を厳しくしていることも充分わかっていても、ただそれを話すだけで具体的に、条件のいい就職口の斡旋などは今の講座ではできない。掃除婦をしている年光いた母親と、知恵遅れの子どもを抱えて、一人の女が夫から離婚を言いたうれ「なんとか生きていく方法はないでしょうか」という時、私たちはせいぜい母や子や生活保護のあることを答えるしかない。講座で

きくことは小さく、息がゆい思いにとらわれるばかりだ。

しかし一人一人の女たちが、自分の人生を見つめ直し、他人に思いやりある目を向け、手をつなぎあっていくならば、いつか大きな力となって結果するかもしれないと思う。

(一九八二年一月十五日記、円まり)

第十九回	12月	5回(金)
1 「離婚後の生き方」	池上千恵子	
2 「約束が守られない時」	金住典子	
第二十回	56年1月	26日(月)
1 「離婚の現状、女の立場」	円より子	
2 「離婚と仕事」	和泉音子	
3 「妻のための法律」	金住典子	

才十二回

4月 24日 (木)

- 1 「他人からの出資」 岡 より子
- 2 「夫と妻の人間関係」 河野貴代美
- 3 「財産は誰のもの(I)」 金佐典子

才十四回

5月 29日 (木)

- 1 「高年離婚の損得」 岡 より子
- 2 「離婚後妻小遣のための年金権」 山下正子
- 3 「財産は誰のもの II」 金佐典子

才十四回

6月 26日 (木)

- 1 「離婚後妻小遣の取組行動」 岡 より子
- 2 「離婚後における親と子」 金佐典子

才十五回

7月 31日 (木)

- 1 「離婚の際の経済問題」 岡 より子
- 2 「知っておきたい法律」 金佐典子

才十六回

8月 28日 (木)

- 1 「元離婚の際の経済問題」 岡 より子
- 2 「元知っておきたい法律」 金佐典子

才十七回

9月 25日 (木)

- 1 「離婚と子供」 平川 和子
- 2 「親権と養育費」 金佐典子

才十八回

10月 30日 (木)

- 1 「母は三男に家なし」 岡 より子
- 2 「財産分与と家財の保全」 金佐典子

次回からは、ニコニコ離婚講座のまみのパートIIとして講座に出席した人々のアンケートをまとめたものもグラフに表わしたりして発表いたします。又どんな講座がききたいか、具体的に内容、講師名など希望をお寄せ下さい。

# 女の法律 妻の立場

54年3月29日 (火) 芥田講壇

金佐由子

皆さんは、離婚というと、不幸の代名詞のように思う方が多いと思います。でもむしろ

私は、今のバーバラさんのように、とても素敵な女性が多いのですよね。それは何んだらう

と不思議に思うのですが、これは或る意味で離婚というのは、人生の最大の不幸なので

すね、お金がないというような事に比べ、て、本当に自分の血や肉をけつて、それ以上に

大事な心をけつりとして決意しなければならぬ

決意す。そういふ中で決意して、もう一歩ん再

出発しようといふ女性達といふものは、やはり、大変たくましく、自分を思つてやる心と、自分を励まそうといふ心をもつていて、どういふものが、その人を魅力的にするんだと、私はいふも思うのです。

余談になりますが、私は「主人」といふ言葉と一回も使った事がないのです。主人といふ言葉は、家族制度のなごりがある、お殿様に仕えるような気分が使う側でしてしまふもので、すから一歩もよんだ事がないのです。

男女平等の配偶者という言葉を使います。その夫の母親、長野の人で、大変面白い人で、洗濯屋、他人の汚れを飯を食ひ、こつこつ柳川をよんですよね、なる程面白い言葉だ。弁護士は「他人の不幸で飯を食ひ」と



私はいつもそう思つて、他人の不幸で飯を

食つてゐるのだから、これは又私の経済的な甚  
盤ですよ。他人の不幸で飯を食うのは非  
常に極みもあり、矛盾も感じるのですけれど、  
その代り、食つてもらつた變りに、何とかそ  
の人のより長く生きられるようにお手伝ひしよ  
うと思つて、そこで償いをしてゐると、じような  
はぢをしてゐる人間なんです。

バーバラさんのお話して、いろんなぢが語  
られていたのですが、私が一番面白かつたの  
は最後の部分で、世の中の人は沢山のものを  
背負ひすぎているのではないか、切り落と  
してあげば、幸せになれるの、といふぢを仰  
言つていたと思つたのです。私も離婚事  
件で出逢う女の人のぢを思つて、いつもそう

いふぢを感じますね。自立出来る同志が結婚  
すると、どんなに幸せになるのかも知れないと、  
バーバラさんも仰言つたのですが、自立した  
者同志、これが大変難かしいぢと思つたので  
すね。離婚する女の方にすーといふ  
いう訳で結婚なさつたの、つていふぢから  
離婚に至るまでの長〜お話を伺つて、  
いと、皆、自分が不幸になると思つて結婚  
してなんぢよまね。で、どんな夫であれ、ど  
んな娘のいる夫であれ、私は幸せにならな  
いと思つて結婚するぢです。で、自分がそん  
なに弱い女性だと思つたぢもなくて、結  
婚しよう二十才以上にもなつて、まんぢから入  
来たと思つて結婚してゐるぢです。

だから自立といふことは大変難かしくて

自分が自主してしないと聞いて、人同は誰れもいないといふ所に、実際自主の難しさ、かあまんじやないかと、私は思っています。それで、まあ、逸々、そういうたお話をしたいので、すけれども、今日の私の担当は、むしろ法律問題を語りといふので、先法律に因連したお話をしてみたいと思います。今日は、「ニコニコ離婚講座」です。実は私の話す内容は、ともニコニコ報出出来るものはないのです。

それは昨日私が四時半、位時間をかけて、大阪の裁判所でも来た離婚事件なんびす、これは主人が弁護士なんびす。弁護士でも非常に悪徳の弁護士で、金持とか、やくざとか、後で殺されるかわからな

いけれど、そういう事件をやつて法律を悪用するのを教える。今、盛んにテレビで「会の執向の事を報道」していますけれども、そこに出てくる弁護士も利と同期の弁護士で、一生懸命、有森さんに、あ、しろ、こころろと、このことを指導してらるんです。皆見えていて、あ、いふ弁護士の仕事もあるか、と思つたりして、今迄弁護士をやろうと思つていた人も、何だ、止めよう、じやと思つた方もあるでしょうね。

「法律」は良いようにも悪いようにも使えるんですよ。丙刃の剣というのかわたはますが、その夫はどちつかとよと、悪い尻に頭を使っている。自分も又そういう

所で金儲けをせよといタウの弁護士だったので  
す。その奥さんは女優でいへば原節子  
さんみたいな、とても清纯派のタイプだった  
のです。もう皆んな相像つのように、そう  
いう夫と対照的に純粋で人をたますと  
いうのが此の垢ほども出来ないといふ女  
性だった訳ですわ。夫とは甚愛で知り合  
つたのですが、残念なもので、遂に見掛けな  
つたのですわ。昔は、昔は、巻紙で水墓の後  
もうさわしような家で昔の昔の文を毎日  
れるような夫だったと云うです。一寸不良  
っぽいようなものがあるなと、花畑はあったの  
ですが、でも入なになつてくれる人も他には  
ない、それも司法試験を受けて、終業  
弁護士になろうといふ人が、そんな悪人

であるか、かかないと思つて強姦し、子供も二  
生まれました。

司法試験に受かるとは、大昔な昔  
かあつて、経済的には男も一生果  
御して、実家から借金一付から助ける  
いよ甲とつて来たのです。昔は、  
福糖の妻ですわ。ところが、合  
とん、女遊びはするわ、金使いは荒  
い、毎晩飲んでくる、といふ甲で、一  
文句をいふと、お前は御きもしな  
は合わしてやつてくるわ、何と云  
主人に訴する、云葉使いお  
殿様にはえるように、何と云  
「これでよろしくついでですか」とお伺  
いもたつてよろしく」とお伺

そして夫婦のセックスの甲でも、おれは義務  
で妻だから一応やそやっているのだ。というよ  
うなことで言われる。そこでさすが耐え  
きれなくなつて、離婚を決意したのでさう  
です。けれども、その夫が悪徳弁護士で  
すから、自分の依頼者のお金を預っていたのを  
使ひこんでしまったのですね。それが充分申し  
てしまつて、起訴されたんですね。

弁護士というのは、口家試験をうけて、  
債仕ある他位にいますから、交通事故の  
時もさうなのですが、禁固以上の刑罰を  
受けると、首がとどわけです。サリリマン  
でないから、解雇ということはないのですが  
資格を剥奪されるという事が出てくる訳です。  
それで奔走しますね。彼女はさあは

すでに離婚を決意していたのです。離婚  
すると、どうしても夫の立場が悪くなる。  
とにかく、この問題のほとぼりが冷めな  
待ってくれという事で、ついでに、若し、この  
問題のほとぼりの冷めるのを待って、再登録  
をして、もう一夜弁護士になった暁には現  
在の大阪の一等地にある、地価七倍を位  
する土地と建物があるのです。それを  
お前に全部やる。おれは一銭もいらぬ。

本「たけあなばよい」と云つていたので、  
よね、一旦、こういう、誓ひの書をかいたの  
ですが、云つたおまじには、自分で筆箱  
から引っぱり出して来て破つたさうなん  
です。こゝろ、小男で、彼女もさすがに  
借の父親でもあり、長年連れ添つた情

もあつし、ということも協力したのである。

最終的には、夫は不起訴になったのですが、それでも、自分から弁護士を三年間はやめるということを、條件で不起訴にしてもらったのです。

ですから、弁護士みたいな肩書きがあるのと随分優遇されるな、と思われ、方もあると思います。今では、一寸その辺の本を二、三冊引きましたという位で、起訴にならず、懲役一年だなんていう事は、結構

おしく、普通の市民だったらやられては、訳で、それに比べれば、弁護士は随分甘いんだなと、お思いになつてしまふ。でも、もっとも甘い汁を吸っている人もいますよ、ね。所が、この夫は、再登壇をした途端、忘れ

たかのように、家にも歸り来ない。生活費も二十何万円入れていたのを、入れたが入れなかつたりするようになった。それから相談にみえたわけです。で、婚姻費用の分担をしまして、この「離婚します」

女性のための離婚入門にも婚姻費用の事が出ていますが、婚姻費用の分担これは夫婦であればお互いに協力する義務があるといふ事ですので、税金のある方が生活費を買担するというのが法律の建前になっていきます。で離婚してしまふとは、さういふ請求が出来るという事で、子供の養育費と妻の生活費を請求する調停を申し立てたのです。ね。そうするとながく、向うの方で

は、こちらの要求額を払ってられない。こちらは子供も大きな家で、子供生かえなので月に三十万を要求したの。でもなかなかきまらないうつで審判になったのですわ。又審判になったら審判で、女性の裁判官がこう云うんぶず。弁護士にもいろいろいる。弁護士だからといって儲かる人はいない。私の父は弁護士になったが金をつたねた。それで結局夫が後く、払って二三十万の金額しか認めなかったのですわ。

人間というのは、裁判官ですら、社会的に教養がありその人でも自分体験からたかく逃れられないもの、と、不平等を感じましたわ。のれりや不服だといふ事で、高等裁判所に抗告しました。その間、離婚の方の調停をしましてわ。新か夫は仕事とか何とかと、

するほのしき、調停もたかく進んだ。それに、以前に土地建物もやるといふ約束をした事はないといふのですわ。とにかくお金はないのだから、今すぐ離婚するのだから、せいぜい千五百万か三千万でアパートを買ってやる。但し一時金ではお金はおまもないから分割にする。分割したらお金のよう、一応所有権というのは、その段階で移ったとしても、完全に払われる迄は、妻の側は非常に不安定な状態です。

これらや困るという事で、到々調停は不成立になりまして、それから裁判が始まりました。これは父は前に約定書をかいて全部やるよと云った。つまりお金の書かいたと、つまり夫婦の離婚に伴う財産命令

はついでに、離婚書があつたといふ事で、離婚書  
のなれば、法律上は、権利といふものが発生する  
訳ですわ。従つて、現在の土地と建物は、奥女  
の物だから、奥女か他(遺言など)しないよう  
に、仮処分といふものをかけたのですわ。仮処  
分をかけるには、保証金といふものかあります。  
非常に低く見積つたとしても、物件の価格の  
1/5〜1/10位の保証金がある。それもな  
いと、離婚をする場合、そのために、大妻が  
するんですけれども、そこで、法律扶助協会に  
頼みますとね、この中にも、法律扶助協会  
のため紹介もあつたと思ひますか。何とか保証  
金を出してこれないかと、でまあ、五万の  
保証金と借りる日が出来ますわ。それを基に  
裁判所が、仮処分の命令を出してくれてゐる

そこで、一階。奥女は、離婚裁判が出来  
るようになった。それから、訴状といふものを作  
りまして、訴状に、どういふ風に請ひたかと、  
書いてますと、「とにかく、いよいよ夫だ」と、前に  
奥女が、訴状が、これは、どういふ意味をお  
こしているかを書いて。夫が、再登録をして、弁護  
士の登録が出来るといふ事は、単に登録だけ  
でなくて、どういふ恩恵、弁護士から、大  
妻の収入を、産んでいくのです。ですから、次  
松と取るといふ日は、それの、財産、価値があ  
ると、たからう、離婚といふ日は、次、松を取  
るといふ日と、妻が、離婚したか、たかだけ  
れども、離婚しないで、松を取らしてあげたま  
わりに、現在の土地と建物を、くれるといふ約束  
したんだといふ事で、訴えを出してゐる。

でそれ以後も、随分と苦勞させられたから、慰謝料  
も一円万位よこせという事で、慰謝料一千元と、  
現在の住りも財産分与すること、子供二人の親権  
を妻に決めて欲しいこと、さういふ裁判をおこな  
う訳です。

で現状は、皆さんは請求が出来ませんからなんぞ  
お慰めになるかも知れません、請求は、自由なん  
です。例へば債権というのを、出さうとも自由なん  
です。但し、財産分与はどんなに多額の請求を  
しても、印紙代は三十万といふ凡にみなされます。  
三十万位の印紙代です。さういふ慰謝  
料の方は、訴訟法の印紙の規定で多額を要求  
するとそれだけ高いテラミクもある訳です。  
所で、裁判の、財産分与、或は慰謝料の基準と  
いふのは、どうなっているか、と、七、三、二、条で、

結婚した夫婦の財産の關係というのは、自分の  
収入で得たものは、その人の物、といふことになつて  
いるんかすね。特有財産、或は別産判  
別といふ、例へば、妻の方の、実家が、大抵、理  
力がある、さういふ嫁入道、旦那と、財産、いふ  
持分金を持て来たといふ場合、それは妻のもの  
です。所が、これは、妻は無能力といふことにな  
つて、いますから、その妻の特有財産である、財  
産を管理するのは、夫の権利、といふ事になつて  
いた訳です。ですから、夫の、さういふ、運用してくれ  
て、いよく離婚といふ時は、何法にも、なつて、い  
ば、或は意味が、有難い、別産、なつて、なつて、  
さうは、いふ、いふ、離婚といふ時にも、強  
三、三、三、といふ、説、であつた、訳、す、から、戦、争、の、婦  
人の、離婚の、地位、といふのは、今、つて、供、と、困、り、よ、う、に、



悪いでしょうね。子供というのは、自分で権利があ

って、それを両親が子供のたれに行使する、という関

係にありますし、子供自身の人権も戦後はちん

と保証していますから、親をのり子供送よりと悪いはず

昔は、父の同意がいって、どんな

にゆきな人かいても自分の意志をば

法婚出来なかった訳です。 必す

一家の家長の同意のなければいけぬ

婚さ合っていたも、この人と結婚すま

と、財産的にメリットがないとか 社会的

な地位の合わないとか、家長の趣味に

合わないとか、という口になつて反話を受けける。

そうすると、駆け落ちとか、大逆無道な事になつた

わけです。

戦後の夫婦といふのは全く自分の好きな意を

もって出来るといふ風になつて、憲法の二十四条の本

質的に平等なんだと云うのが原則になつてゐる

ですから人権も平等である、財産も平等に管

理が出来るといふ風になつた訳です。

そのゆゑに自分で得た収入は自分

のものといふのが基本になつて決つて

か、他存知のように、今の子供といふは

はとうとうわがママの心か、パパの心か

人の話も、グッとこころで、さえた

といふことが出ていますよ、ね。

日本の女性は、さういふ女性が多

くつて、特に、これからの世代はわがママの

こころ、離婚しますし、なんていふ本が出る時

代り、さう、我々はこころいふ講座に出て新し

い、教育をしてゆかぬと知れ、ママが戦前から

お友だちをお誘い下さい。

ニコニコ離婚講座

日時 毎月 最後の月曜日

午後1時半-4時

会場 青山ラ・ミアビル 5F

港区南青山 5-1-3

Tel (03) 499 6248

銀座線表参道下り A4出口前

戦後に教育を受けた母親は皆、夫に付き

ものだが夫をたてない。ところが原に娘を育てるに

てすよ。

戦後随分働く女性が増えている

んだけれども、働いても土地や家の株を

買っても名儀は夫をたて、夫の名儀にするとい

ふのかしらとあつた訳ですよ。そうすると、いよ

く離婚する時は（今の法律では結婚しては

らうは円満ですからと）なつていようとがま

わないけれども、それは形だけですから、こゝろ

法律のハッキリ頭をもち上げて来る訳で、民法七

百五十八條に離婚による財産分与の標準がせ

んべん決められてないです。

それで離婚する際、財産が欲しい側は、名儀者

に押して、財産を分与して下さい、お命かけて下さい、

といふ請求権があるといふだけ、なつていふ訳です。

てすから、元で其命まで命じて作った財産でも

名儀が夫になつていふと、わけて下さいといふ形にな

らうと得ない、と、さういふので、それかや元で因

満に、あの時、あつたなら、二人で出し合つた

の物からちやいまま、戦後の民法は夫婦平等

といつていふ物から、今までお互に苦勞したのた

から半分づつにしようや、といふケースか、いづれい

やうな事をいふのがなか〜ね。

皆さんの夫や義人は、こゝろからいふと、せんかま

あうまい、といつてね、夫の生命は保つた生命

より大分、なんといふ可も云ふわね、結婚した

男性もね、さうな心情があつて、離婚

する時はね、非常中にならうなるので、すよ。

「あ、これか、この女の素性、い、時を

とつた夫のなつて、い、と思つて位、ほんとに、

みずほじい、ケチにならぬ来る。まあ金か

世の中のはたかぶすから、世理のなるといへば、世理

しなさい、あまが、非道か、がかりやせらふま、さう

いふ夫のもがまを許して、さうか、この民法七

百六十八条なんひす。

アメリカな人が、さうと、しことは、さういふ決

られていて、原則として半分づつ合せる。下

さい、ひたたく合せることが、当然の権利にな

らうんひすね。さういふひには、さういふから

当然の別される時にも、さういふひを、さうい

ふわなひで別れるひの出る。法律のさういふ

て、さういふ。

日本の法律は、さういふな、ないから、例えは、調停

に、さういふひひす。さういふひひす、物ほか、さうい

ふひ、さういふひひす、さういふひひす、さうい

ふひ、さういふひひす、さういふひひす、さうい

ちや、さういふひひす、さういふひひす、さうい

て、結局、調停員とか、裁判官に、それをわかつて

もらって、同情をかこ、最終的に、裁判官や

調停員が、なるほどね、貴女のいふひひす、さう

わかって、いふひひす、さういふひひす、さうい

て、今までのケースが、ね、さういふひひす、さうい

て、10%が平均です。ね。専業主婦の場合

で、財産命令が、認められた割合です。ね。全

の財産命令が、さういふひひす、さういふひひす、

平均して、10%位ね、さういふひひす、さうい

て、さういふひひす、さういふひひす、さうい

て、さういふひひす、さういふひひす、さうい

る位あります。

か、こは、さういふひひす、さういふひひす、さうい

さういふひひす、さういふひひす、さうい

金や、さういふひひす、さういふひひす、さうい

ついでに考え方もあつたのでうね。いも噂の伝説  
論争なのからありよりたけれど、経済的に豊  
たが何れも地位はあつたやないかと、みちりた。長  
論のあつた訳がすけれども現在でも実状はそれ  
から一歩もでしていませんね。

で、ついでに、お話ししますと、自らの今の裁  
判官といふのは、法廷の男はなつて、いも、そ  
の男はが、とちらかといつと、彼等がエリートで  
しよう。きいしい試験をくぐり抜けて来る  
ような家庭にすから、(今東大に竹こいる  
人達でも、かつては、苦学生がらつたのが東大  
だつたのです)が今は苦学生では東大には行け  
ない人々がすよね。母も、小さい時から、家庭  
を維持をつけて、遠くも何年かも仕事するよな  
裕福な家庭になつたといふ今は東大に行けない。

しかもそのうち、父の死のまが、それ、その内  
祖母救しの子供ではないけれど、あつた、不感文で  
人をとりこつて、蹴落してゆくか、といふ事、試験  
を受けてゆく訳です。ね、皆が皆、さういふ訳では  
ありませんが、今の裁判官の基本的地位といふのは  
り、昔ながらの経済的りも、そのない、人同国は、可  
心を大目にして、いといふめで、あまり生きて来た  
人ひほい、と裁判官になつてもすね、赤まつ  
ちんに行つていふのは、あつた、裁判官といふ、いす  
か、ね、裁判官の法廷が終つと車を返す、奥  
さんの所へもどる、まゝも、い入る、清潔、法廷  
い、い、で生徒をして、い、裁判官の多い、い、  
すから、  
向、入、入、い、た、い、い、資、格、と、と、  
から、も、ら、つ、勉、え、か、多、い、訳、が、す、から、こ、れ、も、又、ど  
この何れ、今、懐、み、たい、なの、を、も、ら、つ、て、い、る、訳、が、ね

そうすると、そういう裁判官が本当に離婚する人のドロク〜とした苦勞、悩み、経済的なもの（もちろん金持の人がもわかるかも知れないけれど）別れるのも合はざる暇もない人々の離婚の苦勞がわかるた〜つかと思える人もあります。

金住由子、フコッパル  
 中央大学法学部卒業、女性の味方として有名な下関第二代弁渡士事務所を経て、七年前に独立し婦人協同法律事務所と開設婦人センターに法律事務所  
 オートニコニコ親婚講座の講師として女性のための法律を担当している。

法律は不備だし、妻の価値というものを認められていない。そのうえ、裁判官はいろいろ判断する離婚が女性にとって不利で、それをどう改善したり

子供を抱えて子育てしている人たちが大勢、今も縁を断ちません。私はそういう人達のために不利な立場を少しでもよこしま〜と闘っている訳です。そしてこれには皆ええも自分たちのおかれている状況をよく把握するとか大切なことなんです、このニコニコ

離婚講座で十分知識を得て、勇気をもって離婚に立ちあがってほしいですね。これから毎週「女のための離婚に役立つ民法」をお話していくつもりです。今はともも有難うございますね。

円はり子、フコッパル  
 津田塾大学英学科卒、しゃべり上手、講師として活躍。理をフリーのジャーナリスト。三年ぶり、ニコニコ親婚講座を主宰。著書には「離婚します〜女性のための離婚準備」百発百中するのがある。



# お便りコーナー

このコーナーは、皆様からの「お便り」  
手記や、ニコニコ離婚講座を受講して  
いる方々の感想なども毎月載せていきたく  
と思います。皆様の応募をお待ちして  
おります。なお誌上は仮名です。

## 二〇回 おめでとう

第二十四、ニコニコ離婚講座開催、おめでと  
うございます。主催者、受講者共々、皆さんの  
お力で早や二十四を迎えられましたこと、本当  
にうれしく思っています。

振り返って、私が初めてこの講座に出席しまし  
たのは、確か五回目だったと思います。結婚し  
て三十年余り、迂余曲折、何とかほころびを縫  
い、かぎ裂きを繕いながら、耐えぬいてきたつ

もりの私でした。数年前に札幌へ単身赴任し

いた彼は、三年余りの間に気ままな一人暮らし

に慣れ切って、短気で、我儘だった性格は、一瞬

その度合が加わってしまいました。事毎に自分を

出し、主張し、どんなことにも子供や私の言葉を

には耳をかさないばかりでなく、あらゆる限りの

口汚なことで罵しり詰まります。そんな毎日を見

かねたらしい息子が

「お母さん、おんなのはもう止めなよ。お母さ

ん一人位、何とか面倒見るよ。」

との言葉に、新しく昔の事や二人の子供が成人し

た現実を再確認した私は、どうしてこの不健全

な生活から逃れるべきか、明けても暮れても

迷いました。腹立ちと憎しみも一刀に。

そもそも彼と結婚したのは伯母の勧めでした。

昭和二十三年といえは、物資のみならず、男性も戦時時代でした。その頃、私は横浜の伯母の家に住居して居ました。手伝っていたといえは、体裁は良いけれど、激寒にいえは居候の邪魔？故に理詰めを勧められれば、断れることもできず、早々に決められた次第。自分の意志がはっきり言えなかった弱さ、あいまいさを今更自責するのみです。何もかも自分を捨て、この結婚にかけてみようと空気を付けてスタートしたものの、警戒、観察のような潜入意識が先行したのは否めない。何か露骨な言動、教養の無さうれにも増して嫌だったのは、嘘やごまかしの多いこと等々、並べたてれば際限なくくらくらしたってば鼻持ちならない人だったのです。

三井田に長女が生まれましたが、それで性格が変わらねどもありませんし、短気で気合屋の

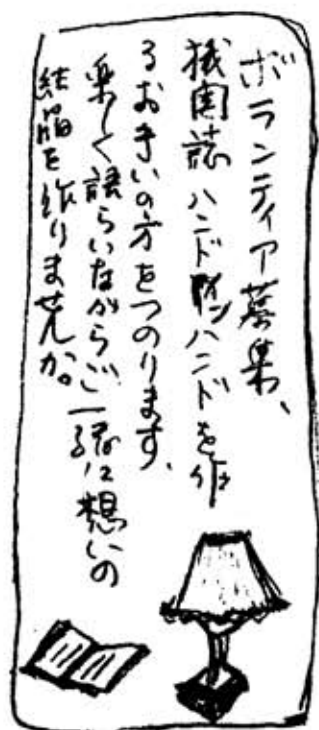
彼は、這い始めた赤ん坊を蹴飛ばした事もありました。次の子長男が生まれる頃、勤め先が倒産して半年余り失業しておりました。いぢんだ事に毎日が耐えろ連続で、我慢我慢と自分はいきかで誰にも一言も話しませんでした。

二十九年六月の暑い日でした。生後九ヶ月の長男を背に、まだよろよろ歩きの長女の手を引いて、都庁の中にある都民相談室を訪れました。私を担当して下さった女性は有名なおえでしか、私の為には何の助けにもなりません。只うれまでじと胸中にくまっていた事を、たとえ少しでも吐露したことで幾分気軽な感じでした。女性問題も何度かありました。

あれこれ考えおぐわっていたある日、新聞でニコニコ離婚講座の記事を考え迷い乍ら、思い切って電話を問い合わせました。受けて下さった

た女性の声は会場の所々、日時を詳しく教えて下さいました。問合せの電話するにもドモトキおえるおえりだったのに、ビルの七階と聞いては行かないうちから足ががくがくするようでしたが、一歩決心して出掛けました。その時は、絶対に斯うとはっきり心に受け止め分析する程のゆとりはないものの、自分を理解してもらう味方を見出した様に感じました。以来、私は毎月の講座が楽しみで最高の憩安場と指折り数えて待っています。

(88ヤ)



講座の友と

励ましあいながら——

ダンスからダンスコート、セーター類を早く二人の友が洋服ケースに詰める。気持ちが高ぶって、いろせいか、私は機械的に必要と思われる衣類を取りだしていた。

「他にいろものは？よく考えて。もうなにか来られないんだから。」

「ブーツは？冬くなるからいろわよ。」

と、わづか一平にならない結婚生活で、生後間もない子供を連れて離婚したA子さんが言う。

「うだ、ブーツも持っていかなければ——」

もう一人の友人、夫の汚気、性格不和等を悩んでいるB子さんが。



「この奥の箱がそうじゃない？」

と、押入れのなかから取出す。二人は主婦らしい手際でまとめていってくれた。おおよそ三十分程で、背後で顔をかめている夫を感じながら私はマニシヨンを出た。

夜の遅い車が東系に向って走り出した時、安堵のため息が何度も出たし、弟も軽くなるのがわかる。

「これで当分衣服に困らないわ。寒い思いをしなくてもいいんだわ。」

高瀬所得者の全国版に名を運ねる夫を持ちながら、私は白分の生活費にも困っていたのだった。

私が講座に初めて顔を出したのは去年の四月、婚家を追われるように出て、二週間程た

った頃だった。教キロやせ、身も心もホロホロになつていた私は、何も解らなかつたし、何も感じなかつた。

「信じ、頼っていた夫が、やさしかったあの人が……、永遠を誓った私たちが……」  
私の中で絶対的であつた大きなものが、おまりにもろく、粉々に崩れてしまつていた。その頃の私を知っている講座の人たちは

「おなたまるでゆうれいのようなだった。」  
と言う。

別居した時から、私の周囲の人たちも変わつていった。結婚している友人は同情的であつてもそれ以外の生活があり、その幸福そうな雰囲気には、近寄り難い気かした。親、きょうだいに、もう、もう甘えてもらいたくない。そんな時、講座

で知りあつた同じ悩みをもつ人からの電話は  
どんなにか救いだつたことだろう。自分の頼  
りなく、生きてゐる感覚さえ失つてしまつて  
いるような状態なのに、電話の向うにもそん  
な人がいる。その人達と何かあれば、また何  
かなくとも、ただ周りの喧騒の中で孤独に落  
ちてゆく自分に耐えられなくて、電話をかけ  
た。街であつて、お茶を飲み、お互いの立場  
をどうしたらいいかもアドベイスした。  
夫のマンションから衣類を持ち出す力を手伝  
つてくれたのも、そうした人達である。無理  
をしても都合をつけてくれたりだつた。

今、私には悲しみや不安定のようなものがあ  
きてゐる。心の奥に束して整くない痛みがあ  
るのだが、それを持ちつのも何かをやつてい

る。夫との事態はより難しくなつてゐるが、  
る意味で二人なりに真剣に自らを、そして人と  
関係を見つめたことはなかつたように思う。ま  
えあい、励ましあえる講座の友もいる。別れ  
同じだけ出逢いがあるというところに、ようや  
気がついてきたこの頃の私である。

(28才)

寒さにふるえた者ほど  
太陽の暖かさを知る  
人生の悩むをくぐつた者ほど  
生命の尊さを知る

ホイットマン

ネクサスからニコニコ離婚

## 講座の仕様へ

キャツイイロナポリテレーン

(ネクサス編集者)

ネクサスは一九七一年に創立しました。私自身のためにつくったと言っているでしょう。離婚して一人ぼっちだった私は、仲間を必要としていたのです。ZMXCS(ラテン語でつながりという意味)、離婚した女性たちのための組織)は人が人へ伝わり、またマスコミでも取りあげられ、次第に大きくなりました。また、「離婚女性のための愛と生活 (Living and loving after divorce)」という本を出版したあとは、

もっと大きな反響がでてきました。

ネクサスは女が互いに助けあうためのグループです。一人で家族を背負っている女たちも同体が基盤になっていきます。

その会は二部に分かれ、一部は将来の活動画を話しあいます。他のグループの情報や、たちが必要としている情報や、いい本の紹介講演によびたい講師のこと、みんなで休日にびに行けるところなどのアイデアも話しあいます。

二部は、あつかいめ求めてあったテーマについて真剣な話しあいがなされます。そのテーマの中でみんなに関心のあるのは、第一に、第二がカウンセリング、第三が子供とのつきあひ、そして別れた夫の両親、つまり子供

っての祖父母とのつきあひ方、過去の生活や未練のふっきり方、新しくできた恋人とのデート法……と続きます、私たの離婚した女の悩みはつきないようです。

この会合以外に、二・三週間に一度、グループで講師を招き、その体験談やアドバイスを参考にします、また、ニケ月くらいに一度はパーティを計画し、それには男性も招待し、異性とのつきあひの場を持つようにしているのです。

ネクサスはだいたい25人くらいでひとつのグループをつくっていて、そういうグループが全米に散らばっています、各グループは、ふたんの会合はメンバーの誰かの家で行いますが、教団とか公共施設を利用することもあります。

会員は年間20ドルの会費を納め、会合毎にノ

ドル払います。講師をよぶ時は2ドルです。各グループにはそれをれりーダーがいて、そのグループの活動に支障がな……よう働いてくれています。

ネクサスではニューズレターを定期的に発行していて、それが各グループのメッセージであるわけです。

ラフな描写ですが、ネクサスの活動がだいたいおかっていただけだと思います。

ニコニコ離婚講座のみたさまも、女の連帯を強くして、別居中でも離婚後でも、孤独にならず、勇気を持って生きていってください。

一九八〇年 十月 二十日

（現在、ナポリテーニさんの著書「*Leaving*」

*and Leaving after Divorce*」を翻訳中で

# # Do you know your husband? #

こういう題名の本がアメリカで出て  
おります。どの程度夫を理解しているか  
を改めて認識させられると思います。  
そのうちに皆さまのお目にかげたいと  
思います。

す。この本はすべてをマニコアル化する社会、  
アメリカにふさわしく、こと細かく、離婚後の  
悩み・疑問に答えています。こういう本はまだ  
我が国にはなく、きっと役に立っし、面白く読  
めると思います。 円 より子記)

相談室  
個人的な相談  
をうけています。  
ニコニコ  
離婚相談室  
毎週水曜日  
予約は 479-5294  
●離婚の相談は  
985-3308-9  
●弁護士 金佐典子

## Tea time

詩・手記の投稿お待ちしております。  
います。

初めてのため不慣れで  
読みにくいのをお許し下さい。  
次回からは皆様と身近な  
楽しいものにするよう努力  
します。



NIK

第七回ニコニコ離婚講座より

主婦業を活かす

アメリカの離婚女性達

講師 円より子

昨日アメリカからもらったばかりで、少々時差ボケでまごまごしたお話が出来ないかもしれませんが、せんがよろしく。

この会も回数を重ね、この会場や又個人的な相談で沢山の人がお話を聞き痛感したのは、確かに法律的な知識も必要だけれど、自活力をつけるのが離婚の際、もっとも大切だということでした。私も原稿を細々書いてようやく生活しているだけで、あまりえうえうなことば言えないのです。

よく長年主婦業や育児業だけして来た人は、  
「私は何もできない」

と、言います。たしかに外で働いたこともないし、結婚後10年15年してから離婚するのは、  
どうしたらよいか不安な気持ちになるのはよくわかります。でも実際には何もできないのではなくて、何ができるかが、まだ自分自身でわかっていない。見つかっていないのだと思うのです。  
私はよくそんな人に

「何年も結婚生活をしてきたのだから掃除や洗濯はできたでしょう。」

と、笑れでも聞いてみます。もちろん、お手伝いや掃除婦なら良い条件で沢山仕事があるのに、  
そういう仕事はどうも嫌だという人もあります。しかし、そうか私にはまだ家事的な仕事はない

さるのだと世にし、いざとなれば主婦業を生か  
せると思ひ気が乗になり、そこから余裕をもつ  
て自活の道も考えられる人もいるのです。自分  
をもう一度見つめなおして、自分のできること  
を捜してみる。又はできることをもう一度役だ  
てるための再教育を受ける方がたいふいます。  
このような実例的な例も、ぜひこの講座で取り  
あゆたいと思います。

今日は今回のアメリカ行きの際に、あちらで  
たくさんの離婚した方々に会っていろいろなお  
話を聞くことができ、そして主婦業を見事に若  
かして自活している人の実例をたくさん見て来  
ましたので、ぜひ報告したいのです。

シカゴから南西に飛行機で一時間位のゼンタ  
ツキーレキントンには、サラグレットの有名な

産地で牧場が多く、たほこの研究で世界一のゼ  
ンタツキー大学がある、小さいが裕福な小綺麗  
な町です。ここで友人のホームムパーティに招か  
れました。その席上少し遅れて来た男の人が  
その言談に

「今日はこれから週に何度か来てもらう女性と  
打合せがおつたのでー。」

と、言いました。彼は数ヶ月前に離婚したほか  
りで、仕事と家事の両方に悩んでいました。打  
合わせにきた女性は約20人の離婚した女の人又  
は、子供に手のかからなくなった主婦のグルー  
プの一人で、そのグループはクリーニンクサー  
ハスと業としていたりというのです。

レキントンはニューヨークなどより10年は  
遅れているといわれる位、保守的な町なのです。

が、既婚者の1/4が離婚経験者なのです。(全米では25%以上の離婚率)男性の離婚者の一番困るのが仕事をしなからの育児や家事で、日本よりも家事に慣れているといわれるアメリカでも、やはりお手伝いが欲しいのです。

レキシントンには東京に比べて物価はとて安く、たとえは大き打ベッドルームが三部屋、広いリビングにダイニングルーム、日本でいえば五LDK位のアパートで七万ですが、お手伝いに来てもらうと、一回六千円位かかります。家の賃の安さにくらべて人件費は高く、離婚していいは妻が再婚するまで扶養料を払わなくてはならないため、少しでも安いお手伝いがほしいです。

このように需要の取ることを利用して、前述

のグループが自分たちは今まで家事は立派にやっていた。それを活かさないではもったいないと、二年前から始めたのが、出張のフリーニシカサービスタリです。

遅れてきた彼は、今日初めてこのグループと契約をしてきたと話したので、大変面白いシステムだと思って、ぜひこのグループに会いたいと頼んで会うことができました。

彼女達のシステムとは、二人ないし三人が一緒になって行動し、一人では長時間かかる所を大勢で短時間に仕上げてしまうことを原則にしています。家の掃除だけでなく、買物や洗濯その他の雑事の仕事も依頼者と最初に話し合います。そして週何回何時間、手伝いが必要かを検討して賃金をきめます。そして念に報告し、



会員間で仕事の調整をし、賃金の一割位を会社の運営資金に使うようにしているのです。

イギリスでもオックスフォード大学出の女性達だけで、クリーニンングサービスを始めたというニュースも二、三ヶ月前に新聞で読みました。

近頃特に大切に思われていることは、生活を美しく楽しく生きること、皆それを求めてはいますが、実際に仕事をもっている人達には

なかなか十分な家事をする時間がないし、小綺麗な家庭を保つのは難しいことですから、

家事の特技をもっている人が、別の人のためにそれをやってあげる仕事は十分に成りたつし、実際に始めてみたら需要が多くて繁盛しています。日本でもこのシステムならやれると思います。

今までも派遣の家政婦の制度はありますが、イメージがあまりよくないので離婚女性にも歓迎されないようです。

このような会が、この講座でも組織できれば、とても良いことだと思います。

アメリカの女性は、家事手伝いをつまらない仕事だと思っていけません。ビジネスライクに徹して、良心的に仕事をするので断られることはほとんど無く、皆に尊重されています。日本より掃除の仕方などもマニュアル化している面もあります。この会では例えばクリーニンング剤の研究や使用法の勉強などもかなり徹底して教習し、新人にはベテランを組ませてチーム作りをしています。

さらに面白いのは、この会でもう一つのサー

かスをしていぬことゝす。ケイタリニクサーで  
スへ料理の出張仕出し」といって、ホームパ  
ティの多いアメリカで共働きの家庭でパーティ  
を聞くと、とても助かる仕組です。客の来る  
十分前にきちんと仕あげてさつと引さあがるの  
で、その家の主婦がすべて準備したように見え  
るし、内容も主婦の作りまつな家庭料理中心に  
注文を受けて作るのです。主婦はめんどうな準  
備や料理作りで疲れることもなく、楽しくホス  
テス役を務められます。料理好きのベテランが  
指導してチームで行動するの、手際もいいし、  
経済的で短時間にしあげ、重宝がられています。

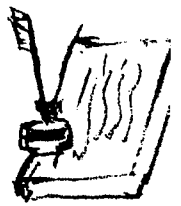
これも日本で十分できることです。  
私の友人で金持ちで社会的にも有名な女の  
人がいます。彼女がパーティを聞く時はホテル

オークラなどから高い仕出しを取っています。  
私共の一月間の食費の幾倍かの高価なものだ。  
日本でパーティを自宅で聞くには、このような  
システムしかないのです。もちろん手作りのパ  
ーティもありますよ。それのほうがずっと楽し  
いこともあるけれど、女には負担です。

日本でも近頃は共働きの家が多くなってきた  
ので、こうしたサービスも必要とされていると  
思います。日本の実情に合わせたシステムを考  
えてやれば、十分にできることではないでし  
うか。このアイデアを立派に実行しているアメ  
リカ女性には、やはり積極的だなぁと感心しまし  
ました。このシステムについて、もし関心があれば、  
皆さんでもっと研究してみたいと思います。

昭和五十四年九月二十日(木)

# 編集後記



離格講座も20回目を迎えました。遅々とした歩みではありますが、少しずつ資料やアンケートの統計もできてきました。昨年初めの第十四回の講座から、資料パンフレット（新・離格の作法など）を配付できるようになりましたし、今回20回目からは、機関紙「ハンドインハンド」を発行します。

これは、講座にお集まりくださった人たちが自発的に「女同士が手をつないで生きていくのが大切」と思い、全くボランティアの精神で手伝ってくださった結果、生まれました。

これまでの講座の誌を著さ残すと共に、アンケートの結果をまとめ、みなさまからの声も載

せて、できれば二ヶ月に一度、発行していただく予定です。

ここまで講座が続き、こうして「ハンドインハンド」も発行できるようになったのは、大勢のみなさまのお陰ですが、特に義方である。ミア企画のみなさま、毎月の間におおわせの処置机並べなどもやってくださったノビス出版の方にお陰です。誌面を借りてお礼申し上げます。

（一九八一年一月十四日・日記）

初めての機関誌の発行で、慣れなかったために誌みづらい所もありましたでしょうか、お許し下さい。機械の調子が悪かったのです、次号からは少しでも読みやすいものを作れるようがんばりますのでよろしくお願ひします。

（ナホミ・リょうこ）



1981年1月26日  
ニコニコ難播講座 発行  
〒150 東京都港区赤坂9 2 9 414  
ノビス出版内 TEL.(03)479 5298